

会 員 各 位

一般社団法人 日本アスファルト合材協会  
会 長 今 泉 保 彦

アスファルト合材業界の信頼回復に向けての取組みについて(お願い)

この度のアスファルト合材の不正納入に関して、当協会としても非常に深刻な事態と捉えており、業界全体の信頼を揺るがす問題であると認識しております。

当協会は今回の事態を重く受け止め、再発防止に向けて対応を図ってまいります。

つきましては、下記の通り関係各位に再発防止策の実施をお願いしたく、お知らせいたします。

記

1. システムプログラム開発業者の方々へのお願い

「データ書き換えが不可能なプログラムとデータ保存機能の提供」

- ① 書き換えが可能なデータ記録システムのプログラムは提供しないこと。
- ② 既存の計量データシステムに対し、書き換えが不可能なデータ記録システムのプログラムを提供すること。
- ③ 合材製造時の計量データをリアルタイムで記録し、信頼性の高い形式（例：CSV 形式など）でデータを保存できるシステムのプログラムを提供すること。
- ④ 不正防止機能やデータ保存機能の向上を目的とした定期的なプログラムのアップデートを行い、最新技術に対応したプログラムを提供すること。
- ⑤ 新しいプログラムのアップデート時に、書き換えが不可能なデータ記録システムが正しく機能していることを確認すること。

2. 合材工場設備業者の方々へのお願い

「工場への不正防止システムとデータ保存システムの装備」

- ① 合材工場設備には、計量データの書き換えが不可能な不正防止システムを装備すること。
- ② 合材工場から発信された正しい計量データをリアルタイムで記録し、データの保管と照会が可能なシステムを装備すること。
- ③ 不正防止機能やデータ保存機能の向上を目的としたシステムのアップデートを行い、最新技術に対応したシステムを提供すること。
- ④ 新しいシステムのアップデート時に、書き換えが不可能なデータ記録システムが正しく機能していることを確認すること。

### 3. 合材製造業者の方々へのご協力依頼

「計量データの適正な管理と不正防止システムの導入」

- ① 計量データの書き換えが不可能な不正防止システムを導入・運用。
- ② 計量データの正確な記録と保管。
- ③ 計量データを、第三者機関または発注者の求めに応じ提出できる体制。

アスファルト合材製造に際し、計量データの書き換えが出来ないための不正防止システムの導入を推進し、合材工場に不正防止機能が完備されることによって、発注者様・受注者様・すべてのお客様が、品質が保証されたアスファルト合材で安心して施工できるよう、対策を施していかなければなりません。

アスファルト合材業界全体の信頼性を高めるため、当協会として、コンプライアンス研修の実施を含め、研鑽努力して参りますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以 上